

中国・四国地区肢体不自由特別支援学校PTA連合会

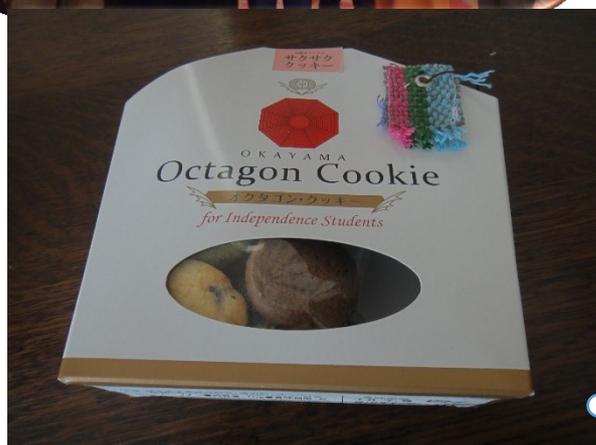
平成30年6月7日・8日に岡山県のピュアリティまきびにてPTA・校長会合同研究会が開かれました。高松養護学校からは、校長、PTA会長、副会長、教員1名が参加しました。

講演会では、社会福祉法人泉学園理事の福田博明氏による「だれもが主人公に～かけがえのない日々をじぶんらしく生きる～」という演題で講演がありました。入所施設やデイサービス事業所のご経験から利用者の方々が生きがいやその人らしさが発揮できる支援についてお話してくださいました。講演を聞き、卒業してからの生活についてイメージし、参加者同士で不安や悩みなどを話し合えるよい機会となりました。

また、分科会では「機器」について愛媛県立しげのぶ支援学校より学校での「機器」の使用の様子や家庭との連携について発表がありました。その後のグループ討議では、それぞれの学校での取り組みや家庭での「機器」の使用について話し合いました。

2日目には、グループ討議を受け、指導助言を岡山理科大学教職学芸員センターの津田秀哲氏よりいただきました。またICT機器についての情報をいただきました。

情報交換会では、他県の保護者の方とざっくばらんに話ができて、親交を深めることができ、充実した2日間となりました。



岡山東支援学校の生徒さんが作っているクッキーです。箱についているさをり織のリボンも生徒さんの作品です